

サークル  
紹介

# この指 と一まれ

87



## ドッジボールクラブチーム「KOTA ブラックス」

毎週木曜日と日曜日、夜7時になると、中央小学校体育館に元気な子どもたちの声が響きわたります。「お願いします」のあいさつとともに、2時間のドッジボールの練習を開始。アップ、キャッチ、パス、アタック、つらい練習にも負けない真剣な子どもたちの姿に、コーチのメンバーもおのずと力が入ります。愛知県は、全国でも有名な強豪チームぞろい。各大会では、素晴らしいプレーを間近に見る機会も多く、子どもたちも目を輝かせながら、明日の自分を夢見ています。ドッジボールを通して、子どもたちの可能性を無限に広げながら、どこまで子どもたちの力を発揮させることができるか、挑戦の日々です。目標は、中部大会出場！3年生から6年生の元気な児童を募集しています。見学だけでも大歓迎。皆で楽しく、目標に向かって、一緒に汗を流してみませんか？スタッフのかたも募集しています。

代表者 塩見 剛 ☎63-1369

この欄に掲載希望のサークルは、はがきにサークル名と連絡先、活動内容を簡潔に書いて企画情報課へ。おってご連絡します。

「へぼい」の「へぼ」は、「平凡」の転といわれ、「へぼ将棋」のように、一般的には下手のことです。しかし、この地方では、勝負、けんかに弱いこと、気が弱いこと、「弱虫」をいい、同じ「弱い」でも前回の「やぐい」とは意味が違います。  
ちなみに、奥三河の珍珠「蜂の子」のクロスズメバチも「へぼ」といいますが、人に食べられてしまうほど弱虫だから、こう呼ばれるのでしょうか。

(文・じろぎ)

# みんなの 広場

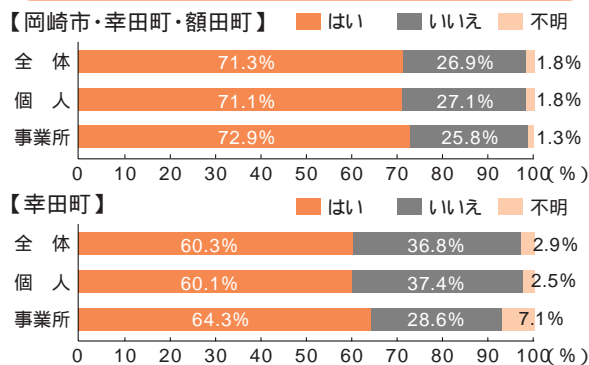
皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線324)  
FAX63-5139

## 岡崎ナンバーに関するアンケート 結果...約6割が賛成

自動車のナンバープレートの地域名表示導入のアンケートを岡崎市・幸田町・額田町の合同で実施しましたところ、個人・事業所とも7割以上のかたが『岡崎』ナンバーへの導入に賛成され、幸田町でも賛成は個人約60%、事業所約64%となりました。この結果をもとに各種団体の代表などで組織する『岡崎ナンバー導入検討協議会』で意見が交わされ、各議会の意見を踏まえた上で、導入を国へ要望していくこととなります。

### 岡崎ナンバー導入に賛成ですか？



回答者の状況

	個人				事業所		
	調査数	男性	女性	計不明	調査数	回答率	回収率
岡崎市	3,300	630	618	1,250	410	264	64.4%
幸田町	1,000	227	200	431	60	28	46.7%
額田町	200	50	52	103	30	18	60.0%
計	4,500	907	870	1,784	500	310	62.0%

## お便り

「へぼい」

わが家の「あまえん坊」もきょうから1年生。ちゃんと通えるかしら……  
「お兄ちゃんもおるで、安気じゃん」  
「そいじじゃない。ふんといへばいはいかんわ」  
「お兄ちゃんもいるから、心配ないよ」  
「こんでもない。本当に弱虫で困るのよ」  
という意味です。



青春トークリレー

第145走者

ながい きよみ 永井 清美さん

坂崎区在住 23歳 介護福祉士
身長 158センチ A型
好きなタイプ
好きな芸能人 窪塚洋介

こんにちは。私はお話をするのが好きなのですが、人前に出てしまうと話せなくなってしまいます。だからすごく緊張します。

私は昔から親に「女は愛嬌だよ」と言われてきて、笑顔を絶やさずあいさつをしっかりしていこうと心に決めていました。笑顔でごまかしてきた部分も多くありましたが、社会に出て3年、笑顔だけではごまかしきれなくて、困ったこともありました。ストレスがたまり、ちゃんと笑えないときもありました。しかし、人間笑顔になるとほがらかになります。これからも笑顔を大切にしていきたいと思います。

来月号は桑子 友美さんです。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。希望者は企画情報課まで。



「まだ花が咲いとらんでなんともしえんが、梅雨どきにはきれいに咲くかん？」
「そうなってほしいがね、朝早くから水をやってたり、
「ここに花の咲く木があるといいねえ」
「その一言がきっかけとなり、庭にあじさいを植えることになりました。そして、あじさいの苗は部屋からよく見える場所に植えられました。」

あじさいの苗



肥料をやったりして、始めのうちにはえなかったが、最近は楽しくなってきただよ。ガーデニングをやっているとかがよく聞くけど、花を育てる楽しさが分かった気がするねえ」
「そうかん、そんなに楽しんだかねえ。ほんならおらもやってみようかね？」

そう言っただけを戻すとトマトやミカンの木が生えていました。
「これ、全部あんたが世話してるだかん？」
「まあねえ。かわいい実がなるとうれしいもんだよ」
生きがいセンターの木々たちはまだまだ増えていきそうです。

皆さんよりひと足お先に万博会場へ行ってきました。内覧会ということで、来場者は本番よりも少なかったのですが、それでもものすごい人で、あまりたくさんパビリオンを回ることはできませんでした。特に苦労したのが食事です。どのお店も満員でコンビにも長い列ができていたほどでした。少しでも多くのパビリオンを見たいかたは、入場してすぐにコンビで昼食を買うことをおすすめします。(D)

昨年の7月号の表紙「待ちに待った夏到来」が、愛知県広報コンクルの写真の部で「特選」をいただきました。夏本番前に冷たいプールから飛び出た子どもを狙ったもので、撮影当日は自然を味方につけ、絶好のシャッターチャンスで被写体をねらうことができました。新年度は「一歩前へ」を自己テーマに積極的に撮影するとともに、特集記事の充実と新たなコーナーへの取り組みをし、今年度は中身で勝負！(M)

